



徳田 ありがたいことに、とてもいい雰囲気でしたね。子どもが熱を出したから帰らないといけないときも、お互いさまだからって。
市長 やはり職場の理解は重要ですよ。

河村 田中さんは、将来結婚して出産した後、仕事に復帰したいと思いませんか？

田中 復帰はしたいと思っっています。ただ、子どもが寂しがらないかなあとも思うので、まだ悩むところではあります。もちろん仕事は好きですし、短時間勤務にできる制度もあるので、うまく利用し

ていきたいと思っています。
河村 会社の福利厚生がしっかりしていると助かりますよね。

田中 そうですね。保育所を利用することも考えながら、子どもも寂しくない、私も自分の力を発揮できる、それが家庭なのか会社なのかまだ分からないですけど、そんな未来をイメージしていますね。
小川 いろいろ考えててすごいですね！

河村 聞いたところによると、小川さんはパティシエなんですよ。小川さんもすごいじゃないですか。
小川 いやいや、田中さんみたい

にいろいろ考えてはいなかったですよ。

子どもができたときに、勤めていたケーキ屋さんを辞めて、でもやっぱり、メリハリのある生活をしたから働きたいと思ったんです。それで、妊娠中にパンが好きになったこともあって、パン屋でバイトを始めたんです。本当にもう、食べたいものの所で働きたいっていう思いしかなかったですよ。

河村 でもそういうお話を聞いていると、女性は子育てしながら違う道を探れる特権というか、そういうものがありますよね。
徳田 専業主婦の方も、PTAや地域で輝いていらっしゃる方がたくさんいますからね。輝ける場所っていろいろは多様ですよ。

田中 お話を聞いていて、何か社会とつながりを持つことが、女性が輝くということなのかなって思いました。どんな形であれ、社会とつながりを持って、自分の意見を出したり、何か影響を与えたりできるっていうことが、女性の輝く社会の姿なんじゃないでしょうか。

河村 確かにそうですね。では市長さん、最後に一言お願いします。
市長 女性が社会で輝くためには、皆さんのようにそれぞれの場所で、希望と意欲を持って活躍できる環

境をつくるのが大事だと感じました。そのためには子育て支援の充実も必要ですし、会社や地域、家族の理解と協力も重要です。

女性が働きながらでも安心して子どもを生み育てられると実感できる環境づくりに、力を入れたいと思います。

本日はありがとうございました。全員 ありがとうございます。

